PC98-NX

活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』の「7　マニュアルの使用方法」でご確認ください。

◆ 添付品の確認、本機の接続、Windowsのセットアップ
➡『はじめにお読みください』

◆ 本機を安全に使うための情報
➡『安全にお使いいただくために』

◆ 本機の各部の名称・機能、本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明、システム設定(BIOS設定)、ATコマンド
➡『活用ガイド　ハードウェア編』(電子マニュアル)

◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

◆ トラブル解決方法
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

このマニュアルです

◆ 再セットアップ方法
➡『活用ガイド　再セットアップ編』

◆ ディスプレイの利用方法
➡ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

◆ 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
➡ Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

◆ パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」のご案内
➡『保証規定＆修理に関するご案内』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

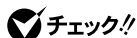
仕様についての詳細は『はじめにお読みください』の「9 付録　機能一覧」をご覧ください。

2004年10月　初版

853-810602-159-A

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

チェック!!　してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

メモ　利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

参照　マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

HD　「再セットアップ領域」が存在するモデルのみ可能な機能や操作、注意について説明します。

CD　「再セットアップ用CD-ROM」使用時のみ可能な機能や操作、注意について説明します。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

本機　次の機種を指します(「＊」の箇所には、PC98-NXシリーズ Mate、VersaProの場合「Y」、PC98-NXシリーズ　Mate J、VersaPro Jの場合「J」の文字が入ります)。

PC98-NXシリーズ　Mate
PC98-NXシリーズ　Mate J
M＊34Y/G-F、M＊30Y/G-F、
M＊34V/C-F、M＊30V/C-F、M＊25X/C-F、
M＊32V/L-F、M＊28V/L-F、M＊25X/L-F、
M＊28V/R-F、M＊25X/R-F、
M＊36Y/M-F、M＊30Y/M-F、
M＊11F/FE-F、M＊11F/FR-F
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

PC98-NXシリーズ　VersaPro
PC98-NXシリーズ　VersaPro J
V＊20F/DG-R、V＊20F/DF-R、V＊17F/DG-R、V＊17F/DF-R、
V＊13M/DF-R、
V＊18F/RF-R、V＊16F/RF-R、V＊16F/RX-R、V＊13M/RF-R、
V＊13M/RX-R、

V＊16F/EF-R、V＊16F/EX-R、V＊13M/EF-R、V＊13M/EX-R、
V＊17F/LV-R、V＊13M/LV-R、
V＊10F/BH-R、
V＊80M/BH-R、V＊80M/BW-R、
V＊16F/HB-R、V＊13M/HB-R
（Windows XP Professionalインストールモデル）
（Windows XP Home Editionインストールモデル）

※本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の調べ方、読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

以下の「＊」の箇所には、PC98-NXシリーズ　Mateの場合「Y」、PC98-NXシリーズ　Mate Jの場合「J」の文字が入ります。

スリムタワー型（高拡張性タイプ）	次の機種を指します。 M＊34Y/G-F、M＊30Y/G-F
スリムタワー型（高機能タイプ）	次の機種を指します。 M＊34V/C-F、M＊30V/C-F、M＊25X/C-F
スリムタワー型（スタンダードタイプ）	次の機種を指します。 M＊32V/L-F、M＊28V/L-F、M＊25X/L-F
スリムタワー型（バリュータイプ）	次の機種を指します。 M＊28V/R-F、M＊25X/R-F
ミニタワー型	次の機種を指します。 M＊36Y/M-F、M＊30Y/M-F
液晶一体型	次の機種を指します。 M＊11F/FE-F、M＊11F/FR-F

以下の「＊」の箇所には、PC98-NXシリーズ　VersaProの場合「Y」、PC98-NXシリーズ　VersaPro Jの場合「J」の文字が入ります。

オールインワンノート（高機能タイプ）	次の機種を指します。 V＊20F/DG-R、V＊20F/DF-R、V＊17F/DG-R、V＊17F/DF-R、V＊13M/DF-R
オールインワンノート（スタンダードタイプ）	次の機種を指します。 V＊18F/RF-R、V＊16F/RF-R、V＊16F/RX-R、V＊13M/RF-R、V＊13M/RX-R
ベーシックノート	次の機種を指します。 V＊16F/EF-R、V＊16F/EX-R、V＊13M/EF-R、V＊13M/EX-R
モバイルノート（大画面タイプ）	次の機種を指します。 V＊17F/LV-R、V＊13M/LV-R
モバイルノート	次の機種を指します。 V＊10F/BH-R、V＊80M/BH-R

モバイルノート (タッチパネル付)	次の機種を指します。 V＊80M/BW-R
モバイルノート (ワイド画面タイプ)	次の機種を指します。 V＊16F/HB-R、V＊13M/HB-R
Office Personal 2003 モデル	Office Personal 2003がインストールされた状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Professional Enterprise 2003 モデル	Office Professional Enterprise 2003がインストールされた状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office 2003 モデル	Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルを指します。
RAIDモデル	IDE RAIDボードが実装された状態でご購入いただいたモデルを指します。
StandbyDiskモデル	StandbyDiskが添付されたモデルを指します。
CDレスモデル	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。
FDレスモデル	フロッピーディスクドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。
アプリケーションCD-ROM	本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を指します。
CD/DVDドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブと記載します。
【　】	【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『　』	『　』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「Phoenix cME FirstBIOS Pro Setup Utility」などと表示されます(画面上の表記はお使いの機種により異なります)。

◆ このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003(Microsoft® Office Word 2003、Microsoft® Office Excel 2003、Microsoft® Office Outlook® 2003、Microsoft® Office Home Style+)
Home Style+	Microsoft® Office Home Style+
Office Professional Enterprise 2003	Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 (Microsoft® OfficeWord 2003、Microsoft® Office Excel 2003、Microsoft® Office Outlook® 2003、Microsoft® Office PowerPoint 2003、Microsoft® Office Access 2003、Microsoft® Office Publisher 2003、Microsoft® Office InfoPath™ 2003)
RecordNow	Sonic RecordNow!™
StandbyDisk	StandbyDisk 2000-XP Pro

◆ このマニュアルで使用している画面

このマニュアルに記載の画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
また、特にことわりのない場合、「再セットアップ領域」を使用したWindows XP Professional インストールモデルの画面を使用しています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows XPおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(9) 本書に記載されているWebサイトや連絡先は、2004年9月現在のものです。

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

このマニュアルの構成・読み方

ハードディスク内の「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データ、または本機添付の「再セットアップ用CD-ROM」を使って本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法などを説明しています。

必ず「PART1　再セットアップする」の「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容（チェック!!）、用語（用語）、メモ（メモ）を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

PART 2

付　録 49

索　引

英数字

カ行

サ行

タ行

ハ行

PART

1

再セットアップする

Windowsを再セットアップする方法について説明します。

この章の読み方

必ず「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフモードを利用してシステムを修復
「セーフモードで起動する」(P.15)

↓

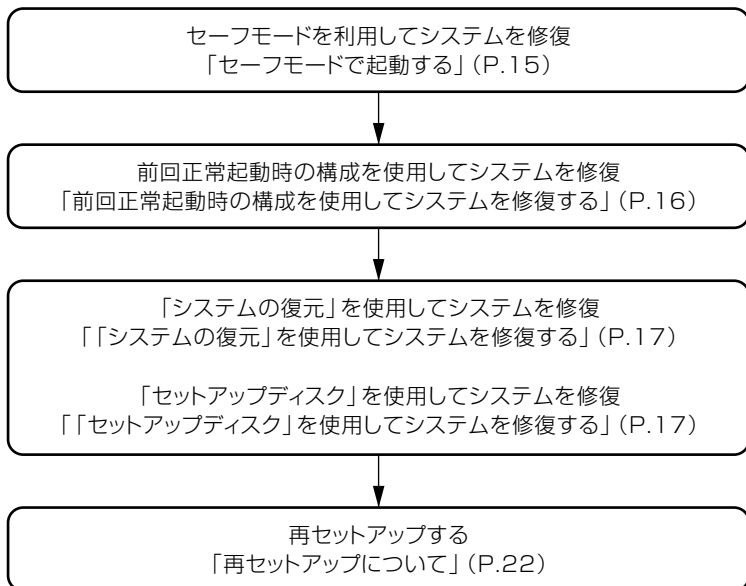
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」(P.16)

↓

「システムの復元」を使用してシステムを修復
「「システムの復元」を使用してシステムを修復する」(P.17)

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復
「「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する」(P.17)

↓

再セットアップする
「再セットアップについて」(P.22)

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

セーフモードで起動する

セーフモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

1 **Windows XPを起動する**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、数回【F8】を押す**

3 **「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す**

4 **「オペレーティングシステムの選択」画面が表示された場合は、【Enter】を押す**

5 **「Windowsへログオン」画面が表示された場合は、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック**

セーフモードが起動します。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- 前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、全て破棄されます。
- 構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は以下の手順で行います。

1 問題があるWindows XPを起動する

2 「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、数回【F8】を押す

3 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」画面が表示された場合は、【Enter】を押す

5 「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」画面が表示された場合は、【L】を押し、【Enter】を押す

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPが起動します。

「システムの復元」を使用してシステムを修復する

「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。
Windowsが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!!

セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細については「ヘルプとサポート」をご覧ください。

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しなかった場合は、次の手順で「Windows XP セットアップディスク」を作成し、システムを修復してください。

チェック!!

- **システムの修復を行うには十分な知識が必要です。**
  あらかじめ「ヘルプとサポート」をご覧になり準備を行ってください。
- **この作業にはフロッピーディスクドライブが必要です。**
  FDレスモデルをお使いの場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-BU21)が必要になります。
- **RAIDモデルをお使いの場合は、「Windows XPセットアップディスク」に加え、本機添付の「RAIDモデル用ドライバディスク」が必要になります。**

◎「Windows XP セットアップディスク」の作成

チェック!!

「Windows XP セットアップディスク」を作成するには、1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクが6枚必要です。また、Microsoft社ホームページからダウンロードを行うための、インターネット接続環境が必要です。

1 インターネットに接続し、Microsoft社の次の場所にアクセスする

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;310994

チェック!!

ご使用の環境によりそれぞれ専用のセットアップディスクが必要です。ご使用の環境に応じた「セットアップ ディスク プログラム ファイル」をダウンロードしてください。

2 掲載されているプログラムをダウンロードし、実行する

画面の指示に従って「Windows XP セットアップディスク」の作成を行ってください。「Windows XP セットアップディスク」の作成が終了したら、作成した「Windows XP Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリック

4 次のコマンドを実行する

A:【Enter】
expand -r txtsetup.si_ .【Enter】
del txtsetup.si_【Enter】
exit【Enter】

5 メモ帳を起動し、「Windows XP Setup Boot Disk」内の「txtsetup.sif」を開く

6 ［SetupData］セクションに次の修正を加えて、上書き保存する

［SetupData］

SetupSourceDevice = ¥device¥harddisk0¥partition1（行の追加）

SetupSourcePath = "¥Windows"

チェック!!

この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。i386フォルダを元の場所から移動した場合は、記述を変更してください。

harddisk は、ハードディスクの番号です（0から始まります）

partition は、パーティションの番号です（1から始まります）

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

以上で「Windows XP セットアップディスク」の作成は終了です。

次に「◎「回復コンソール」の開始」へ、RAIDモデルをお使いの方は、「◎「回復コンソール」の開始（RAIDモデルの場合）」（P.20）へ進んでください。

◎「回復コンソール」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows XP Setup Boot Disk」をセットする

2 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

3 「セットアップの開始」画面が表示されたら、Windows XPをセットアップするか、Windows XPを修復するかを指定するよう聞かれるので、【R】を押して修復を選択する

4 キーボードを選択する画面が表示されたら、画面の指示に従ってキーボードの選択を行う

5 回復コンソールが起動する

6 回復コンソールのコマンドを用いて修復を行う

以上でシステム修復作業は終了です。

◎「回復コンソール」の開始(RAIDモデルの場合)

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows XP Setup Boot Disk」をセットする

2 「Windows Setup」画面が表示され、画面の一番下に「Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver…」と数秒間表示されるので、その間に【F6】を押す

チェック!!

【F6】を押しても特に反応(音やメッセージ)はありません。
画面の一番下に表示されているメッセージが変わるだけの状態がしばらく続きます。
また、【F6】を押すタイミングが遅いと手順4のメッセージは表示されません。

3 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

4 「Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system,・・・・」と表示されたら、【S】を押す

チェック!!

手順4のメッセージは「Setup Disk #4」をセットした後に表示されます。
このメッセージが表示されない場合は、【F3】を2回押した後に【Enter】を押し、再度手順1からやり直してください。

5 「Please insert the disk labeled Manufacturer-supplied hardware support disk into Drive A: * Press Enter when ready.」と表示されたら、フロッピーディスクドライブに「RAIDモデル用ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

6 「WinXP Promise FastTrak100(tm) LP/TX2 Controller」を選択して【Enter】を押す

7 ドライバの名称が正しいことを確認して【Enter】を押す

8 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

9 「セットアップの開始」画面が表示されたら、Windows XPをセットアップするか、Windows XPを修復するかを指定するよう聞かれるので、【R】を押して修復を選択する

10 キーボードを選択する画面が表示されたら、画面の指示に従ってキーボードの選択を行う

11 回復コンソールが起動する

12 回復コンソールのコマンドを用いて修復を行う

以上でシステム修復作業は終了です。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、壊れてしまった本機のシステムを復旧させることができますがハードディスクに保存したファイルは消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかを確認し、以下の注意事項をお読みになってから再セットアップの準備へ進んでください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

- 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
- ハードディスク内のプログラムが正常に動作しない。
- ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- システムの修復を行っても問題が解決できない。
- セーフモードで起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの設定を変更するため

- Cドライブの容量を変更したい。
- ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

チェック!!

モバイルノート（ワイド画面タイプ）ではハードディスクを1つのパーティションにすることはできません。

3. Windowsの設定を変更するため

- Windowsを工場出荷時の状態に戻したい。
- 登録した名前を変更したい。

4. ハイパー・スレッディング・テクノロジの設定を変更するため

- ハイパー・スレッディング・テクノロジを有効にしたい。
- ハイパー・スレッディング・テクノロジを無効にしたい。

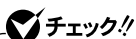
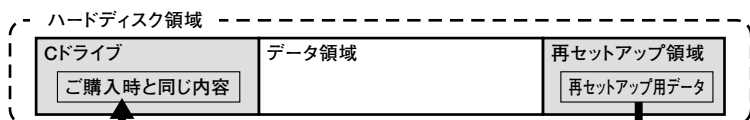
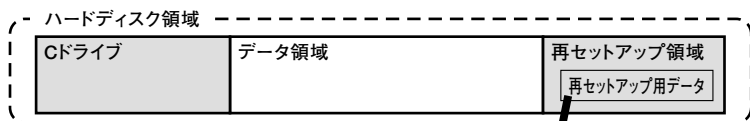
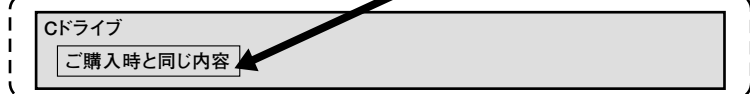
再セットアップ

本機のシステムが壊れてしまったときに、「再セットアップ領域」、または「再セットアップ用CD-ROM」に入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。
ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット（初期化）し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

再セットアップの種類

再セットアップには内蔵ハードディスク内の「再セットアップ領域」を使用した再セットアップと「再セットアップ用CD-ROM」を使用した再セットアップ方法とがあり、それぞれに標準再セットアップモードとカスタム再セットアップモードがあります。
ここでは全ての再セットアップの種類とオプション(2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット)について説明します。

「再セットアップ領域」について

HD ハードディスク内の「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを使用して、本機を再セットアップします。

「再セットアップ領域」は、セレクションメニューで、「再セットアップ用CD-ROM」を選択した場合は存在しません。

CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブ搭載モデルをお使いの場合は、「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データを使用して、「再セットアップ用CD-ROM」を作成できます。

ハードディスクの領域を自由に(「再セットアップ領域」を含む)使用したい、または全領域を1パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップしてください。
「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合、「再セットアップの準備」の「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)をご覧ください。

チェック!!

- **「再セットアップ領域」を削除してしまうと、この方法では再セットアップできなくなり、「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップする必要があります。「再セットアップ用CD-ROM」を入手(作成、または購入)するまでは「再セットアップ領域」は削除しないでください。**
- **「再セットアップ領域」を削除したい場合は、「PART2　付録」の「「再セットアップ領域」を削除する」(P.50)をご覧ください。**

「再セットアップ用CD-ROM」について

ハードディスクの領域を自由に(「再セットアップ領域」を含む)使用したい、または全領域を1パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップしてください。

チェック!!

「再セットアップ用CD-ROM」は、セレクションメニューで、「再セットアップ用CD-ROM」を選択した場合のみ添付されています(この場合、「再セットアップ領域」は存在しません)。

また、「再セットアップ用CD-ROM」を紛失したり破損したりした場合は購入できます。(有料)
お買い求めの際は、以下の「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページにアクセスしてください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター

http://nx-media.ssnet.co.jp

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

◎標準再セットアップ

1台目の内蔵ハードディスクドライブを全て工場出荷時と同じ状態に戻します。2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。初心者の方やハードディスクについて詳しくご存知でない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

チェック!!

「再セットアップ用CD-ROM」を作成、または購入し、そのCD-ROMを使用して標準再セットアップした場合は、「再セットアップ領域」も復元されます。「再セットアップ領域」を復元させたい場合はこの方法で再セットアップしてください。
セレクションメニューで「再セットアップ用CD-ROM」を選択した場合、この方法で再セットアップしても「再セットアップ領域」は作成されません。
また、モバイルノート(ワイド画面タイプ)では、約2.5GBの未使用領域が作成されます。

◎カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい場合は、この方法で再セットアップしてください。
以降の説明をご覧になり、再セットアップ方法を選択してください。

次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■Cドライブのみを NTFSで再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクドライブのCドライブのみをNTFSで再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。
2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

CD

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。
1台目の内蔵ハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップをとってください。
2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

チェック!!

モバイルノート(ワイド画面タイプ)では全領域を1パーティションにして再セットアップすることはできません。

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザー設定による再セットアップ)

1台目の内蔵ハードディスクドライブの領域を1GB単位(NTFS)で10GBから自由に設定して再セットアップします。
2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。OSによっては、1M バイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

◎2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット

再セットアップでは2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットしたい場合は、再セットアップモード選択画面で「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択し、フォーマットしたあとは「標準再セットアップ」、または「カスタム再セットアップ」を行ってください。

再セットアップ時の注意(共通)

再セットアップするときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップするときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップできません。また、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできないことがあります。

◎再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップを始めたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。必ず最後まで通して行ってください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやり直してください。

◎Windowsの設定をするときは長時間放置しない

Windowsの設定をする際に、キー操作の必要な画面では長時間放置しないでください。

◎再セットアップ後の状態について

購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールし直してください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定は全て初期状態になります。もう一度設定し直してください。

チェック!!

Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。再セットアップ後にアプリケーションがうまく動作しなくなった場合は、アプリケーションを再インストールしてみてください。

再セットアップ時の注意(Mate、Mate J)

◎ハイパー・スレッディング・テクノロジについて

ハイパー・スレッディング・テクノロジ対応機種(スリムタワー型(高拡張性タイプ/高機能タイプ/スタンダードタイプ)、ミニタワー型)をお使いの方でハイパー・スレッディング・テクノロジの有効/無効を変更する場合は、再セットアップする前にBIOSセットアップユーティリティの「Hyper-ThreadingTechnology」の設定を次のように変更してください。

〈有効にする場合〉

「Hyper-Threading Technology」:「Enabled」

〈無効にする場合〉

「Hyper-Threading Technology」:「Disabled」

◎ダイナミックディスクについて

・ 起動ハードディスクドライブをダイナミックディスクにした場合、「標準再セットアップ」以外は正しく再セットアップすることができません。

  また、「再セットアップ領域」を使用して「標準再セットアップ」を行う場合は、「アプリケーションCD-ROM」から起動し、「再セットアップ領域の復元」を選択したのち、「標準再セットアップ」を行ってください。「再セットアップ用CD-ROM」を使用して「標準再セットアップ」を行う場合は問題ありません。

・ 起動ハードディスクドライブをダイナミックディスクにした場合、「再セットアップツール」にある「再セットアップ領域を表示する」、または「再セットアップ領域を非表示にする」メニューは使用できません。

  再セットアップ領域を表示する場合、または非表示にする場合は、次の手順で操作してください。

①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック

③「コンピュータの管理」をダブルクリック

④「コンピュータの管理」画面が表示されたら、「ディスクの管理」をクリック

⑤「ディスク0」の最後尾を選択して右クリック

⑥「ドライブ文字とパスの変更」をクリック

⑦〈再セットアップ領域を表示する場合〉
「追加」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック
〈再セットアップ領域を非表示にする場合〉
「削除」ボタンをクリックし、「はい」ボタンをクリック

⑧「コンピュータの管理」を閉じる

・ 増設ハードディスクドライブがダイナミックディスクになっている場合は必要なデータをバックアップしたあと、Windows上でベーシックディスクに変更してから再セットアップしてください。

◎起動ハードディスクドライブに拡張パーティションを作成した場合の注意

再セットアップする前に拡張パーティションにある必要なデータをバックアップしたあと、拡張パーティションを削除してから再セットアップしてください。また、再セットアップ中に「無効なメディアの種類です」と表示された場合は「中止」を選択し、処理を継続してください。

◎起動ハードディスクに未割り当て領域が存在する場合の注意

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合、起動ハードディスクに未割り当て領域が存在しないことを確認してください。

未割り当て領域が存在する場合は、再セットアップする前にWindows上で未割り当て領域をプライマリパーティションで確保してから再セットアップしてください。

◎StandbyDiskモデルで2台目の内蔵ハードディスクドライブに対して再セットアップを行う場合の注意

・ 1台目の内蔵ハードディスクドライブに、フォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。1台目の内蔵ハードディスクドライブの必要なデータをバックアップしたあと、1台目の内蔵ハードディスクドライブを全て未使用領域にしてから、再セットアップしてください。
・ 「BIOSセットアップメニュー」の「Main」にある「IDE Channel 0 Master」の設定を「None」に変更してから再セットアップしてください。設定を変更することにより、「Boot」メニューの値も変更されますので、事前に設定を控え、再セットアップ終了後に元の値に戻してください。

◎2台目の内蔵ハードディスクドライブに拡張パーティションを作成した場合の注意

「BIOSセットアップメニュー」の「Main」にある「IDE Channel 0 Slave」の設定を「None」に変更してから、再セットアップしてください。
再セットアップ終了後は設定を元に戻す必要がありますので控えておいてください。

◎RAIDモデルをご利用の場合の注意

RAIDモデルをご利用の場合は、再セットアップ前に、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。確認方法については、「PART2 付録」の「再セットアップ前の注意事項(RAIDモデルのみ)」(P.54)をご覧ください。

再セットアップ時の注意(液晶一体型)

◎ハードディスク/光ディスクアクセスランプについて

再セットアップ中、ドライバがセットアップされるまで、「ハードディスク/光ディスクアクセスランプ」はハードディスクアクセスの時に点灯しませんが、セットアッププログラムは正常に動作しています。
そのまま手順に従って操作してください。

再セットアップ時の注意(VersaPro、VersaPro J)

◎ダイナミックディスクについての注意

本機の再セットアップはダイナミックディスクをサポートしておりません。

◎起動ハードディスクドライブに拡張パーティションを作成した場合の注意

再セットアップする前に拡張パーティションにある必要なデータをバックアップしたあと、拡張パーティションを削除してから再セットアップしてください。また、再セットアップ中に「無効なメディアの種類です」と表示された場合は「中止」を選択し、処理を継続してください。

◎起動ハードディスクに未割り当て領域が存在する場合の注意

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合、起動ハードディスクに未割り当て領域が存在しないことを確認してください。

未割り当て領域が存在する場合は、再セットアップする前にWindows上で未割り当て領域をプライマリパーティションで確保してから再セットアップしてください。

◎StandbyDiskモデルで再セットアップするときの注意

StandbyDiskモデルをお使いの場合、セカンドハードディスクドライブ(VersaBay IVb)で運用中、そのドライブに対して再セットアップすることはできません。必ず、バックアップ環境の構築後、本体内蔵のハードディスクドライブに対して再セットアップしてください。バックアップ環境の構築手順については、電子マニュアル『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップをする前の必要な準備について説明しています。再セットアップする前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- 『はじめにお読みください』
- 「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」
- Office Personal 2003モデルをお使いの場合
  - 「Office Personal 2003」のCD-ROM
  - 「Home Style+」のCD-ROM
- Office Professional Enterprise 2003モデルをお使いの場合
  - 「Office Professional Enterprise 2003」のCD-ROM

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、さらに次のものを準備しておいてください。

- 「再セットアップ用CD-ROM」

チェック!!

- CDレスモデルをお使いの方で「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、別売のCD/DVDドライブ(VersaBay IVb、または拡張スリムベイ)、またはUSB接続のCD/DVDドライブが必要です。
- Mate、Mate Jをお使いの場合で起動ハードディスクがダイナミックディスクになっているときは、「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする際にも「アプリケーションCD-ROM」を使用します。
- 「再セットアップ用CD-ROM」が添付されていないモデルをお使いの場合は、「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)をご覧になり作成してください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションは全て消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、データのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!!

マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップをとってください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、ネットワークの設定などは全て工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- 無線LAN ON/OFFスイッチをオフにする
- 本機の電源を切る
- 周辺機器を取り外す(CD/DVDドライブを除く)
- CD/DVDドライブを使える状態にする
- ACアダプタを接続する

◎無線LAN ON/OFFスイッチをオフにする

無線LANが内蔵されているモデルの場合は、無線LAN ON/OFFスイッチがオフになっていることを確認してください。無線LAN ON/OFFスイッチがオンになっている場合は、再セットアップの前にオフにしてください。

◎本機の電源を切る

スタンバイ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

◎周辺機器を取り外す(CD/DVDドライブを除く)

『はじめにお読みください』をご覧になり周辺機器を取り外して、購入時と同じ状態にしてください。

チェック!!

本機にLANケーブルや無線LAN用外付アンテナが接続されている場合は、再セットアップを開始する前にいったん取り外してください。

デュアルディスプレイ機能を使用している場合は、2台目のディスプレイを取り外し、購入時と同じ状態にしてください。

◎CD/DVDドライブを使える状態にする

Office 2003モデルをお使いの方、または「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする方は、再セットアップを始める前にCD/DVDドライブを使える状態にしておいてください。

◎ACアダプタを接続する

VersaPro、VersaPro Jをお使いの場合、バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで「再セットアップ」の準備が全て整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉

「「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする」(P.37)

〈「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉

「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(P.40)

「再セットアップ用CD-ROM」の作成

HD ◎「再セットアップ用CD-ROM」の作成

「再セットアップ用CD-ROM」の作成には、約1時間30分かかります(モデルやご使用になるCD-R媒体によって異なります)。
この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。
「再セットアップ用CD-ROM」は、本機に添付のRecordNowと本機に搭載されているCD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブを使用して作成してください。また、700MB、または650MBのCD-R媒体を4枚用意してください。
CD-R以外の媒体では「再セットアップ用CD-ROM」は作成できませんのでご注意ください。

メモ

「再セットアップ用CD-ROM」の作成に失敗した場合など、「再セットアップ用CD-ROM」を途中から作成することもできます。

チェック!!

- 「再セットアップ用CD-ROM」の作成作業に入る前に次のことを行ってください。
  - ACアダプタを接続する
  - 別売の周辺機器を取り外す
    (本機に搭載、または添付されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDマルチドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブは除く)
  - RecordNowがインストールされていない場合は追加する
  - Virtual CD 7がインストールされている場合は削除する
  - 常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションを終了させる
  - 省電力機能の設定を解除する
- 作成した「再セットアップ用CD-ROM」は、大切に保管してください。
- 「再セットアップ用CD-ROM」を作成した場合は、「再セットアップ領域」を削除する必要があります。「PART2 付録」の「「再セットアップ領域」を削除する」(P.50)をご覧になり、「再セットアップ領域」を削除してください

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ用CD-ROM作成」をクリック

2 「再セットアップ用CD-ROM作成」画面が表示されたら、「スタート」ボタンをクリック

これ以降の操作は「完了」ボタンが表示されるまで、画面の指示に従ってください。

3 「再セットアップ用CD-ROM」の作成が完了したら、「再セットアップ領域」を削除する

参照 「PART2　付録」の「「再セットアップ領域」を削除する」(P.50)

以上で「再セットアップ用CD-ROM」の作成は終了です。

これで「再セットアップ」の準備が全て整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。

〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする」(P.37)

〈「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(P.40)

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

HD 次の3通り(「【F11】を押して起動する」、「「再セットアップツール」から起動する」、「「アプリケーションCD-ROM」から起動する」)のうち、いずれかの操作を行い、再セットアップを開始してください。

チェック!!

起動ハードディスクに未割り当て領域が存在する場合は、再セットアップ前に「再セットアップ時の注意(Mate、Mate J)」(P.28)、または「再セットアップ時の注意(VersaPro、VersaPro J)」(P.31)の「◎起動ハードディスクに未割り当て領域が存在する場合の注意」をご覧ください。

◎【F11】を押して起動する

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」ロゴの画面が表示されたら、【F11】を数回押す

チェック!!

【F11】を押すタイミングが遅いと、「Windows 再セットアップ」画面が表示されません。表示されなかった場合は、いったん電源を入れ直し、【F11】を押す間隔を変えてください。

3 「Windowsの再セットアップを行います」と表示されたら、注意事項をよく読んで【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.41)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.43)へ進んでください。

◎「再セットアップツール」から起動する

チェック!!

- 再セットアップを始める前に、常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションは必ず終了してください。
- 必ず管理者（Administrator権限を持つユーザー）でログインしてください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック

2 「再セットアップツール」画面が表示されたら、「再セットアップ領域を使用して再セットアップ」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
再起動後、再セットアップ開始画面が表示されます。
次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.41)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.43)へ進んでください。

◎「アプリケーションCD-ROM」から起動する

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をCD/DVDドライブにセットする

3 「Windows XP 再セットアップ」画面が表示されたら、「再セットアップ領域を使用して再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

4 「再セットアップ領域を確認しました。」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

チェック!!

- Mate、Mate Jをお使いの場合で「再セットアップ領域が確認できませんでした」と表示されたときは、起動ハードディスクがダイナミックディスクになっている可能性があります。手順3の画面で「再セットアップ領域の復元」を選択して再起動した後、もう一度「再セットアップ領域を使用して再セットアップ」を選択してください。
- 「再セットアップ領域の復元」を選択すると、起動ハードディスクのデータは削除されます。必要なデータは必ずバックアップをとってください。
- 「再セットアップ領域の復元」を選択しても、「再セットアップ領域」から再セットアップできない場合は、「再セットアップ領域」が削除されているか、無効になっています。「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(P.40)をご覧になり、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップしてください。

5　再起動を促す画面が表示されたら、CD/DVDドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.41)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.43)へ進んでください。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して、本機を再セットアップします。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をCD/DVDドライブにセットする

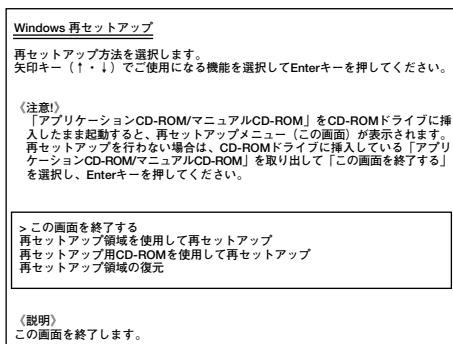
3 次の画面が選択されたら、「再セットアップ用CD-ROMを使用して再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

再セットアップ方法を選択します。
矢印キー（↑・↓）でご使用になる機能を選択してEnterキーを押してください。

《注意!》
「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入したまま起動すると、再セットアップメニュー（この画面）が表示されます。
再セットアップを行わない場合は、CD-ROMドライブに挿入している「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を取り出して「この画面を終了する」を選択し、Enterキーを押してください。

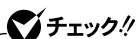
> この画面を終了する
再セットアップ領域を使用して再セットアップ
再セットアップ用CD-ROMを使用して再セットアップ
再セットアップ領域の復元

《説明》
この画面を終了します。

チェック!!

「再セットアップ領域の復元」は、起動ハードディスクドライブをダイナミックディスクにした場合など、「再セットアップ領域」から起動できなくなった場合にのみ選択してください。詳細は「再セットアップ時の注意（Mate、Mate J）」の「◎ダイナミックディスクについて」（P.28）をご覧ください。

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」（P.41）へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」（P.43）へ進んでください。

標準再セットアップする

標準再セットアップする

チェック!!

再セットアップ中にCD-ROMの入れ替えを要求された場合は、画面の指示に従いCD-ROMを入れ替えてください。

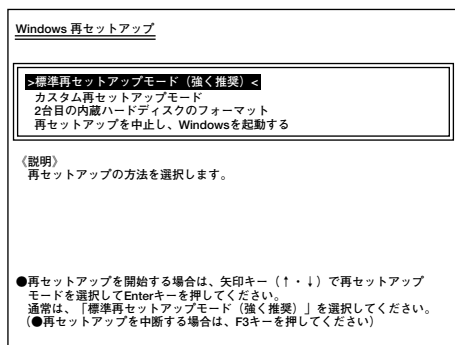
1 「Windows XPの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

>標準再セットアップモード（強く推奨）<
カスタム再セットアップモード
2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
再セットアップの方法を選択します。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップモードを選択してEnterキーを押してください。
通常は、「標準再セットアップモード（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください）

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

次に「Windowsの設定をする」(P.42)へ進んでください。

Windowsの設定をする

Windowsのセットアップを行います。

◎Windowsのセットアップ

『はじめにお読みください』の「5 Windowsのセットアップ」をご覧になり、使用するWindowsのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windowsのセットアップが終了したら、いったん電源を切ったあと、『はじめにお読みください』の「8 使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「◎Office Personal 2003、Office Professional Enterprise 2003を再インストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。

◎Office Personal 2003、Office Professional Enterprise 2003を再インストールする(Office 2003モデルのみ)

各アプリケーションを再インストールしてください。
再インストールの方法は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

次に「◎購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

◎購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによって全てなくなります。再度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。

以上でWindows XPの再セットアップは終了です。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップする

チェック!!

再セットアップ中にCD-ROMの入れ替えを要求された場合は、画面の指示に従いCD-ROMを入れ替えてください。

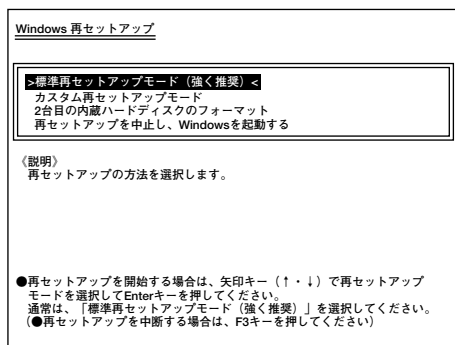
1 「Windows XPの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

>標準再セットアップモード（強く推奨）<
カスタム再セットアップモード
2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
再セットアップの方法を選択します。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップモードを選択してEnterキーを押してください。
通常は、「標準再セットアップモード（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください）

これ以降の操作は、再セットアップ方法により異なりますので、それぞれのページへ進んでください。

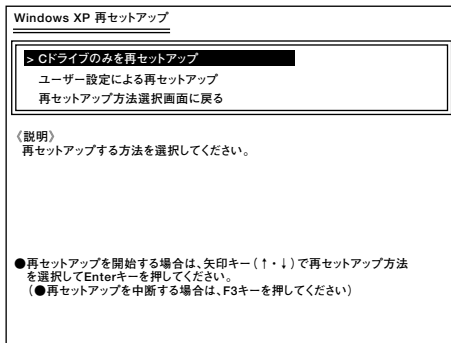
・「Cドライブのみを NTFSで再セットアップする」(P.44)
・「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(P.45)
・「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(P.46)

Cドライブのみを NTFSで再セットアップする

CドライブのみをNTFSで再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

再セットアップを行うハードディスクに、Cドライブより大きい未割り当ての領域が存在する場合には、Cドライブのみの再セットアップができない場合があります。未割り当ての領域をパーティションとして確保してから、「Cドライブのみを再セットアップ」を行ってください。

1 次の画面が表示されたら、「Cドライブのみを再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

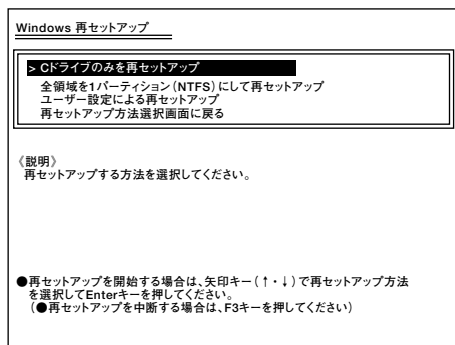
「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.42)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

CD 全領域を1パーティション(NTFS)にしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

- 「全領域を 1 パーティション(NTFS)にして再セットアップ」は「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ表示されます。
- モバイルノート(ワイド画面タイプ)では全領域を1パーティションにして再セットアップすることはできません。

1 **次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す**

※ 画面は「再セットアップ用CD-ROM」使用時のものです。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.42)へ進んで、その後の操作を行ってください。

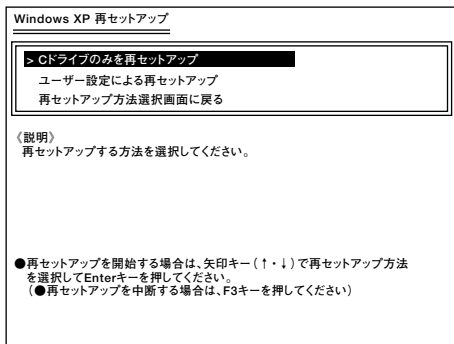
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

Cドライブの領域を変更したい場合は、この方法で行います。
Cドライブの領域を1GB単位(NTFS)で10GBから自由に設定して再セットアップすることができます。

チェック!!

指定できるサイズの最大値は次の通りです。
全領域を1パーティションにしたい場合は、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(P.45)をご覧ください。また、モバイルノート(ワイド画面タイプ)をお使いの場合は、インスタント機能を利用するための領域を確保するため、全領域を1パーティションにして再セットアップすることはできません。

〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉
**　ハードディスクの容量より、3GB小さい値**
〈「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉
**　ハードディスクの容量より、1GB小さい値**

1 次の画面が表示されたら、「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。
OSによっては、1M バイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.42)へ進んで、その後の操作を行ってください。

PART

2

付　録

この章の読み方

「再セットアップ領域」を削除したい、復帰させたい、またはRAIDモデルで再セットアップする前にお読みください。

この章の内容

「再セットアップ領域」を削除する

「再セットアップ領域」は以下の手順で削除することができます。

HD

チェック!!

「再セットアップ領域」を削除すると「再セットアップ領域」を使用した再セットアップができなくなります。「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップを行う必要がありますので、「再セットアップ領域」を削除する場合は注意してください。

参照

- 「再セットアップ用CD-ROM」の作成→「PART1　再セットアップする」「再セットアップの準備」の「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)
- 「再セットアップ用CD-ROM」の購入方法→「PART1　再セットアップする」「再セットアップについて」の「「再セットアップ用CD-ROM」について」(P.24)

この操作は管理者(Administrator権限を持つユーザー)で行ってください。

チェック!!

起動ハードディスクドライブがダイナミックディスクになっている場合は手順5に進んでください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック

2 「再セットアップツール」画面が表示されたら、「再セットアップ領域を表示する」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

チェック!!

「再セットアップ領域を表示する」がない場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、手順5に進んでください。

3 「再セットアップ領域を表示します。実行にはしばらく時間がかかります。開始してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

4 「再セットアップ領域はWindows上から認識できる形式に変更されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

5 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

6 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック

7 「コンピュータの管理」をダブルクリック

8 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、「ディスクの管理」をクリック

9 「ディスク0」の最後尾に割り当てられているドライブ番号(E:など)を確認する

2台目の内蔵ハードディスクから起動している場合は、「ディスク1」のドライブ番号(F:など)を確認してください。

チェック!!

- このドライブに、お客様ご自身で作成したフォルダ、またはファイルが存在しないことを確認してください。通常は次のフォルダが存在します。

  DOS　SYSINST　IMAGE　UPDATE

  これらのフォルダが存在しない、または、異なったフォルダが存在する場合は、以前に「再セットアップ領域」を削除した可能性があります。
  システム管理者にご確認ください。

- ドライブ番号がない場合は、以下の手順でドライブ番号を追加してから行ってください。

  ①「ディスク0」の最後尾を選択して右クリック

  2台目の内蔵ハードディスクから起動している場合は「ディスク1」の最後尾を選択して右クリックしてください。

  ②「ドライブ文字とパスの変更」をクリック
  ③「追加」ボタンをクリック
  ④「OK」ボタンをクリック

10 このドライブを削除しても問題がないことが確認できたら、「操作」メニュー→「すべてのタスク」の「パーティションの削除」をクリック

11 「プライマリパーティションの削除」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

12 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ領域用ツールの削除」をクリック

13 「再セットアップ領域用ツールの削除」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

14 「再セットアップ領域用ツールの削除が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上で「再セットアップ領域」の削除は終了です。

「再セットアップ領域」を復元させる

HD 「再セットアップ領域」を復元させるためには、作成、または購入した「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップを行ってください。
また標準再セットアップを行うと、1台目の内蔵ハードディスクドライブは工場出荷時の状態に戻るため、あらかじめ必要なデータのバックアップをとってから、標準再セットアップを行ってください。

再セットアップ前の注意事項（RAIDモデルのみ）

RAIDモデルにおいて再セットアップを行う場合、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。

◎ディスクアレイ情報の確認

1 **電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面の後で、「Press <Ctrl-F> to enter FastBuild (tm)Utility..」と表示されたら、【Ctrl】+【F】を押す**

正常にFastBuild (tm)Utilityが起動すると、以下の「Main Menu」が表示されます。

［Main Menu］

Auto Setup････････････････････････････････････［1］
View Drive Assignments････････････････････････［2］
Define Array･･････････････････････････････････［3］
Delete Array･･････････････････････････････････［4］
Rebuild Array･････････････････････････････････［5］
Controller Configuration･･････････････････････［6］

2 **「Define Array」の【3】を押す**

以下のように「RAID Mode」が「Mirror」、「Status」が「Functional」となっていることを確認してください。
（Capacity（MB）：ハードディスク容量）

［Define Array Menu ］

Array No	RAID Mode	Total Drv	Capacity（MB）	Status
* Array 1	Mirror	2	xxxxx	Functional
Array 2	…	…	…	…
Array 3	…	…	…	…
Array 4	…	…	…	…

チェック!!

- 「Status」が「Functional」と表示されない場合(「Critical / ---」)は、ディスクアレイ情報が正しく設定されていません。【ESC】を押して「Main Menu」に戻り、「◎ミラーリングの再設定」(P.56)を行ってください。
- 以下のメッセージが表示された場合は、ハードディスクドライブが故障している可能性があります。ご購入元、またはNECに相談ください。

```
No Disk is found. Please check the
Power and data cable connection.
<Press Any Key to Exit>
```

参照 NECのお問い合わせ先→『保証規定&修理に関するご案内』

3 【ESC】を押して「Main Menu」に戻る

4 再び【ESC】を押す

以下のメッセージが表示されます。

```
System is going to REBOOT!
Are You Sure?
Y — Reboot  /  Any Key — Back
```

5 「Reboot」の【Y】を押す

再起動します。

以上でディスクアレイ情報の確認は終了です。
次に「PART1 再セットアップする」の「再セットアップの準備」(P.32)へ進んでください。

◎ミラーリングの再設定

1 「Main Menu」で「Delete Array」の【4】を押す

```
[Main Menu]
Auto Setup····································[1]
View Drive Assignments························[2]
Define Array··································[3]
Delete Array··································[4]
Rebuild Array·································[5]
Controller Configuration······················[6]
```

2 「Critical」と表示されているディスクアレイ情報を選択して【Delete】を押す

「Delete Array Menu」でディスクアレイ情報が 無い場合には、手順4へ進んでください。

[Delete Array Menu]

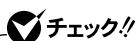
Array No	RAID Mode	Total Drv	Capacity (MB)	Status
* Array 1	Mirror	2	xxxxx	Critical
Array 2	…	…	…	…
Array 3	…	…	…	…
Array 4	…	…	…	…

以下のメッセージが表示されます。

```
Are you sure you want to delete this array?
Press Ctrl-Y to Delete, or others to abort...
```

3 【Ctrl】+【Y】を押す

ディスクアレイ情報が削除されます。

チェック!!

「Delete Array Menu」の「Status」に「Critical」と表示されるディスクアレイ情報は、全て削除してください。

4 【ESC】を押す

[Main Menu]へ戻ります。

5 「Auto Setup」の【1】を押す

[Auto Setup Options Menu]が表示されます。

```
Auto Setup Options Menu
Optimize Array for              :   Performance
Typical Application to use      :   DESKTOP
```

6 「Optimize Array for」の設定を【→】を押して「Security」へ変更(ミラーリングの設定)する

7 【Ctrl】+【Y】を押す

以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want the disk image to be
Duplicated to another?(Yes/No)
Y — Create and Duplicate
N — Create Only
```

8 「Create and Duplicate」の【Y】を押す

以下のメッセージが表示されます。

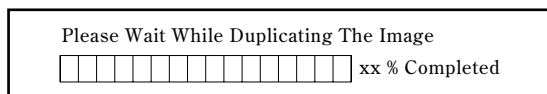
```
Please Select A Source Disk
Channel:ID    Drive Model    Capacity(MB)
  1:xx           xxxx            xxxx
  2:xx           xxxx            xxxx
```

9 【Enter】を押す

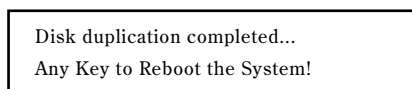
以下のメッセージが表示されます。

```
Start to duplicate the image...
Do you want to continue?  (Yes / No)
Y - Continue, N - Abort
```

10 【Y】を押す

以下のメッセージが表示されます。

チェック!!

Duplicationの作業には30〜60分程度かかります。Duplicationが完了すると、以下のメッセージが表示されます。

```
Disk duplication completed...
Any Key to Reboot the System!
```

11 適当なキーを押す

再起動します。

チェック!!

再起動後も「Status」に「Critical」と表示される場合は、ハードディスクドライブが故障している可能性があります。ご購入元、またはNECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先→『保証規定＆修理に関するご案内』

以上でミラーリングの再設定は終了です。
次に「PART1 再セットアップする」の「再セットアップの準備」(P.32)へ進んでください。